

まわして くるっとあみゆあみゆ

Kurutto Amyuamyu

とりあつかいせつめいしよ
取扱説明書
(アレンジブック)

改訂:2016.5月
たいしやうねんないさいいじやう
対象年齢6才以上

保護者の方へ

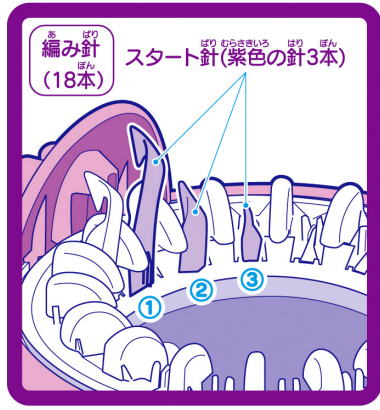
- あそぶ前にこの取扱説明書をお子様とよくお読みください。
- お子様が慣れるまでは、一緒にあそんであげてください。
また、本体へ毛糸をセットする際や、編んだ後の毛糸のしまつなどは大人の方が手伝ってあげてください。
- 取扱説明書(本書)は汚れたりせず、大切に保管してください。
- カギ針、とじ針、はさみを使用する部分がありますので、お取扱いはご注意ください。



もくじ

●セット内容と各部の名称・セット内容以外に用意するもの…	1
●セット内容でつくれるもの・毛糸について・ 編みはじめの前に準備しよう! ……	2
●毛糸のセットのしかた ……	3
●基本の編みかた-輪編み ……	4
●輪編みの編み終わり・編みはじめのしまつ ……	5
●基本の編みかた-平編み・平編みのしまつ ……	6
●平編みスイッチのきりかえについて・ いちごとひよこのストラップのつくりかた・応用編 ……	7
●くまちゃんのつくりかた・応用編 ……	8-9
●ハートのチャームのつくりかた ……	9
●リボンポーチのつくりかた ……	10
●リボンストラップのつくりかた・うさちゃんきんちゃくのつくりかた ……	11
●フェルトテンプレート・注意・使用上の注意 ……	12

セット内容と各部の名称



セット内容以外に 用意するもの

- はさみ
- 手芸用ボンド
(接着するときは手芸用ボンドが適しています。)

はさみを使うときは大人の方が手伝ってあげてください。

- とじ針…1本
- カギ針…1本

きりかえスイッチ
※輪編みと平編みの
きりかえのときに
使います。

- わた…1袋

- 毛糸大1種・小2種…各1個
 黄色 ピンク 水色

- フェルト2種…各1枚
 オレンジ 茶色

とりあつかいせつめいしよほんしよ
取扱説明書(本書)…1冊

セット内容でつくれるもの かんたんなものからつくと、つくりやすいよ!

つくりかた 7 ページ



いちごのストラップ
ひよこのストラップ

むすかしさ
☆☆☆☆☆

つくりかた 8 ページ



くまちゃん

むすかしさ
☆☆☆☆☆

つくりかた 9 ページ

ハートのチャーム

むすかしさ
☆☆☆☆☆



つくりかた 10 ページ

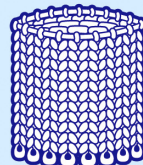
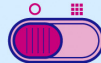
リボンポーチ

むすかしさ
☆☆☆☆☆

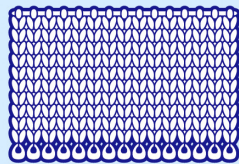
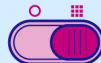


この編み機では
2通りの編みかたができます。

輪編み



平編み



毛糸について

毛糸のえらびかた

まわしてくるとあみゆあみゆは、

糸のヨリ(ねじり)が多い
化学繊維(アクリル等)の

中細の毛糸で編むことができます。

ただし、中細といってもいろいろな
太さ、種類がありますので、あらかじめ
試し編みをすることをおすすめします。

○ヨリ(ねじれ)
が多い

×ヨリ(ねじれ)
が少ない

毛糸の長さがたりないときは、同じ毛糸を用意して
毛糸の端どうしをむすんで長さを調節してね。

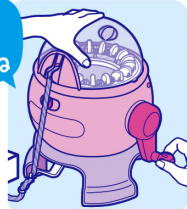
●毛糸の中の結び目について

製造工程で糸の長さをそろえるために
毛糸を結んで足す場合があります。

結び目は不良品ではありませんのでご了承ください。

結び目があった場合は、本体の糸口を通るときや
編み針にかかるときにハンドルをゆっくりまわして、
結び目をよく見て編み進めてください。

よく見て
ゆつくり
まわしてね



あそぶ前に必ずつくろう!

右記のスペースに、セット内容にきまれている毛糸を切り取って貼ります。

こうしておくと、セット内容の毛糸を使い終わって、新しい毛糸を買いに行くとき、
毛糸を選ぶときの目安(太さ・材質)になって、とても便利です。

※毛糸はセロハンテープ等で貼りましょう。

毛糸が太すぎたり細すぎたりすると、
うまく編めないときがあるから注意してね。

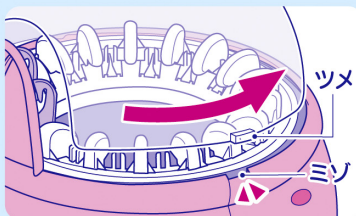
黄色 アクリル100%

水色 アクリル100%

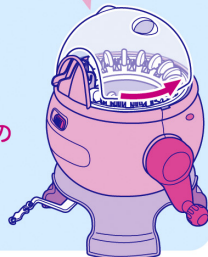
ピンク アクリル100%

編みはじめる前に準備しよう!

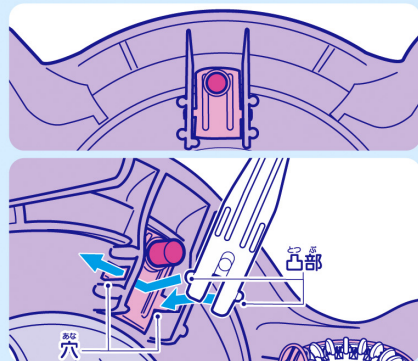
フタのはずしかた



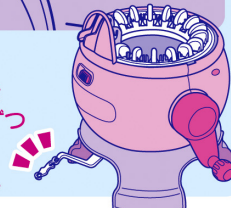
反時計まわりに
まわし、もちあげて
はずします。
(セットするときには
フタのツメを本体の
ミソにはめてから
時計まわりに
まわします。)



テンションのつけかた

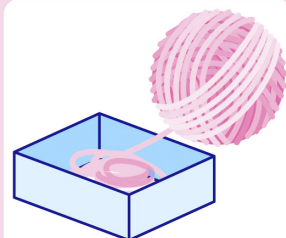


本体を裏返して
テンションの凸部を
本体裏の穴に片側ずつ
向きに注意して
さしこんでください。



毛糸をほくしましよう。

毛糸は毛糸玉からほくして
あき箱などに、いれましょう。

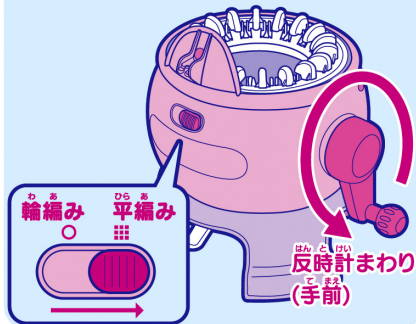


注意

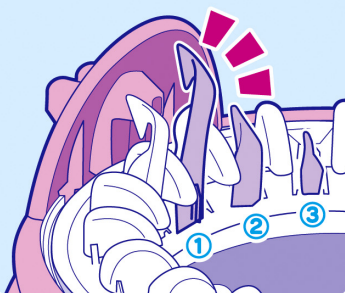
必ず行ってください。
行わないと、きれいに
編むことができません。

毛糸のかけかたをまちがえると正しくハンドルがまわせなくなり故障の原因となります。

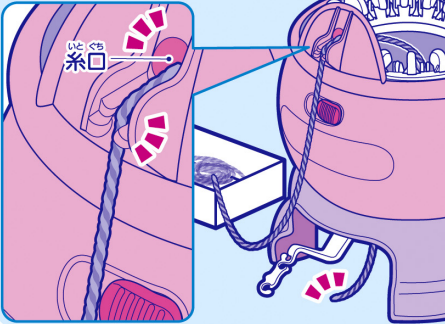
1 きりかえスイッチを平編みにセットして、ハンドルを反時計まわり(手前)に、とまるまでまわします。



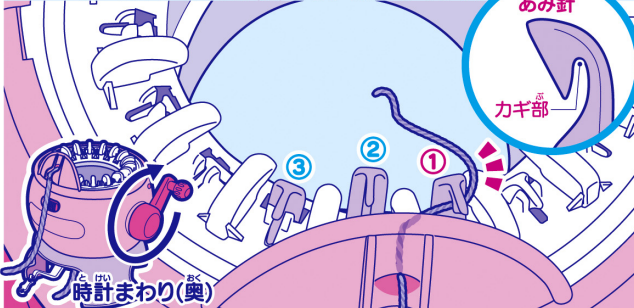
2 スタート針(3本)が正面にきていることを確認します。
※きていないときはハンドルで位置をあわせませす。



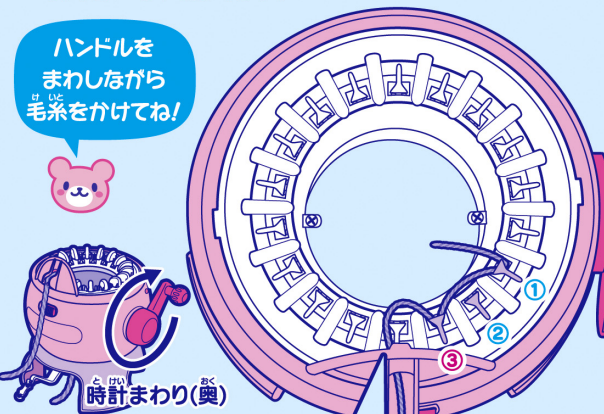
3 図のように毛糸を本体の糸口に通します。テーブルにつくくらい(約20cm)の本体の中にたらしませす。



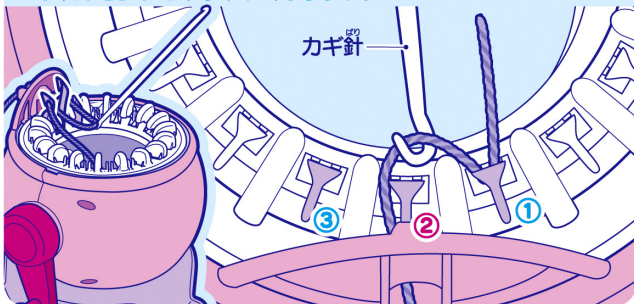
4 今回はハンドルを時計まわりにゆっくりまわしながらスタート針①のカギ部(前)に毛糸をひっかけませす。



5 さらにハンドルをゆっくりまわしながら、スタート針③のカギ部に毛糸をかけませす。



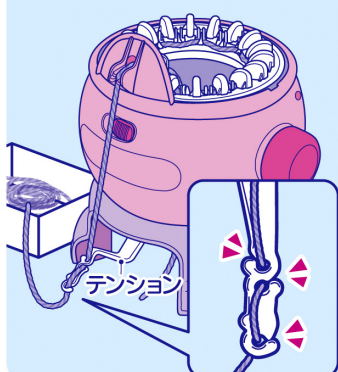
次にスタート針②のカギ部には毛糸をひっかけないでスタート針②の後ろにかけませす。針の後ろにかけるときはカギ針を使うとやりやすくなります。



6 ハンドルをゆっくりまわしながら針の前、後ろと交互に毛糸をかけていき、回転部分をひとまわりさせませす。
失敗してしまつたら、毛糸がカギ部にかからないように注意して反時計まわりにまわしながら毛糸をはずし、最初から毛糸をセットしなおしませす。



7 きちんと毛糸がかけられたら毛糸をテンションに図のようにかけてください。



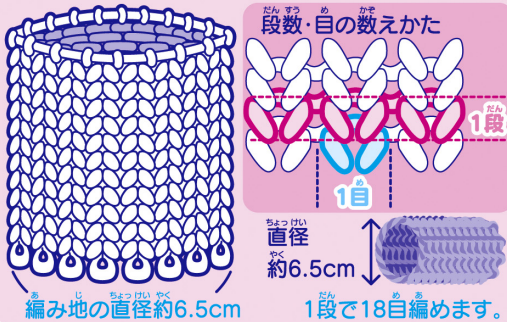
8 毛糸が正しく通っているか確かめて、フタをしっかりとセットしてください。



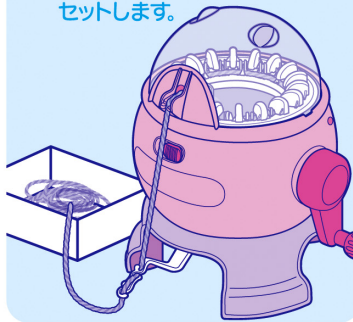
基本の編みかた-輪編み

輪編みのしあがり(1段 18目)

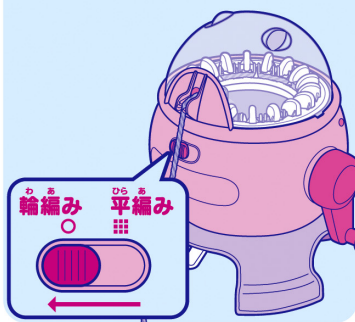
図のような筒状の形を編みます。



1 ページの毛糸セットのしかたを見ながら本体に毛糸をセットします。

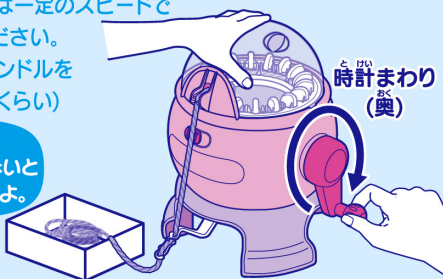


2 きりかえスイッチを〇(輪編み)にします。



3 フタをおさえながら時計まわりにハンドルをまわして編みます。まわすときは一定のスピードでまわしてください。(1秒間にハンドルを2回まわすくらい)

毛糸は必ずほくしてから編まないときれいに編めないよ。



編みはじめたら反時計まわりにまわさないでください。反時計まわりにまわすと、糸がからまりほけなくなります。

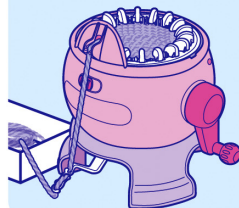
4 スタート針が1周すると、1段編めます。時計まわりにまわして編みたい段数まで編んでいきます。

何段編んだかを数えていってね!

編んだ段数 正下.....

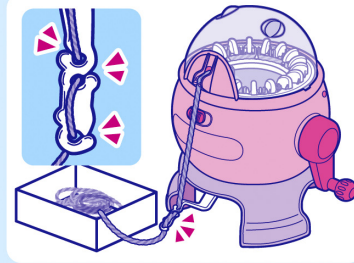
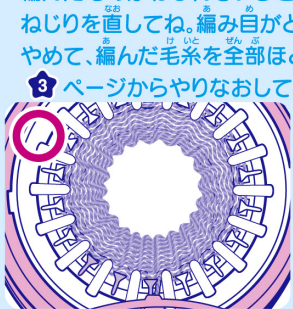
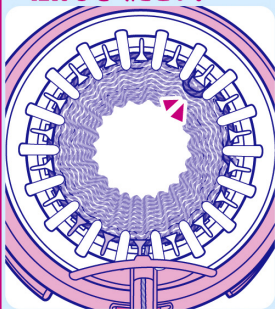


5 目標の段数まで編みあがったらフタをはずします。



ハンドルが重くなったり、からまわりしたときは

① 編み目がとんでいないか ② 編みあがったものが、ねじれていないか確認してください。 ③ 本体の外の毛糸がからまっていたり、テンションにひっかかっていないか確認してください。



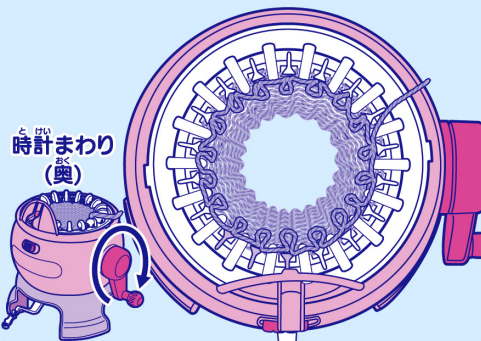
そのまま無理にハンドルをまわすと針が折れます。編むのをやめて、編んだ毛糸をほどいてください。

6 毛糸を約5cmのあたりで切り、糸口からはずします。



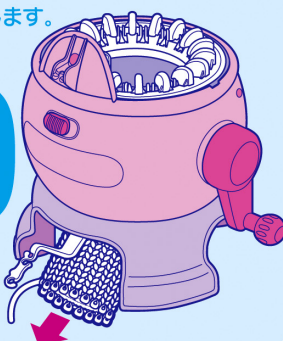
はさみを使うときは十分に注意してね。

7 さらにハンドルを時計まわりにまわすと編んだものが編み針から1目ずつはずれていきます。



8 すべての毛糸が編み針からはずれたら編んだものを本体の下から取り出します。

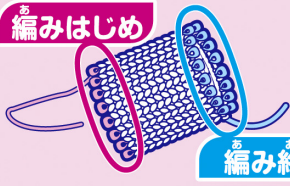
編み目がほけないように注意してね。



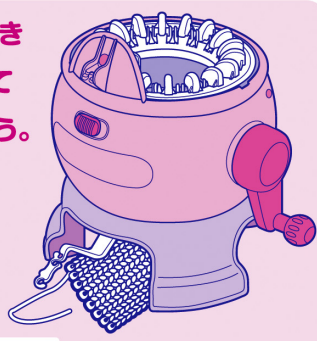
輪編みの編み終わり・編みはじめのしまつ

編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけてしまうので気をつけましょう。

編みはじめ



編み終わり



しまつをしやすくするために...

編んだものを本体からはずした後、編み終わりの残り糸を手でゆっくりひっぱって、1段(18目)一周ぐるりとほどいておきます。編み終わりの毛糸をとじ針に通します。



とじ針に毛糸を通しにくいときは...

毛糸の先にセロハンテープを1回巻いて針穴に通しましょう。通したらセロハンテープをはがします。

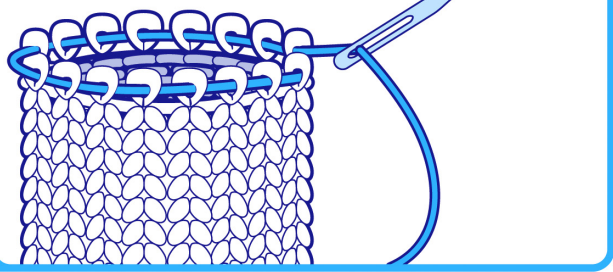
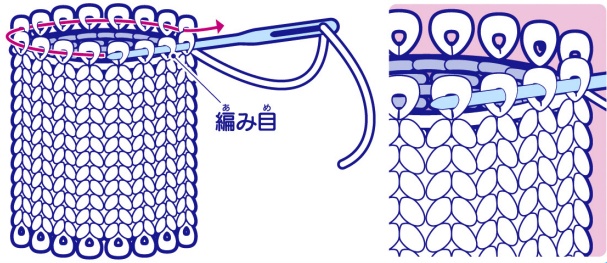


輪編みのときは、編み終わりに一周毛糸を通します。

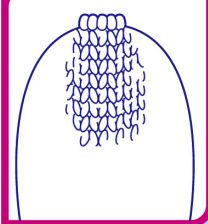
編みはじめは①と②の作業は行いません。

① 輪になっている編み目にとじ針を通します。同じ向きで編み目をひろっていきます。編み目の向きに注意してください。

② 一周すべてとじ針で毛糸を通します。

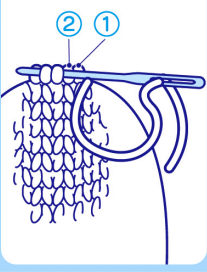


くちをしぼる場合

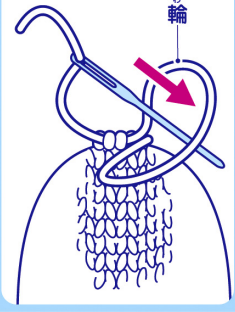


① 一周した後、残った毛糸をゆっくりとひっぱって口をとじます。

② 残った毛糸から2個となりの編み目にとじ針をいれます。

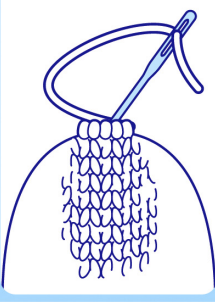


③ とじ針を通してひっぱってから、輪を作ります。そこにとじ針を通して結びます。

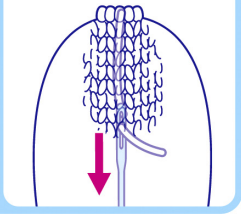


残った毛糸を隠す場合

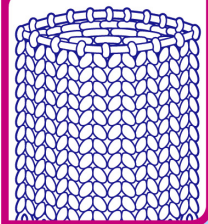
④ しぼった穴からとじ針を中心の内側へいれます。



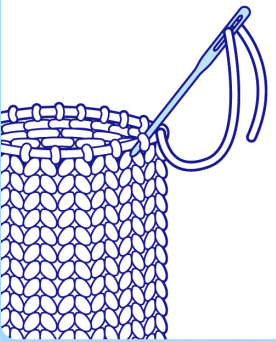
⑤ 内側から通した毛糸を矢印の方向にひっぱります。余分な毛糸ははさみで切るか、中にいれます。



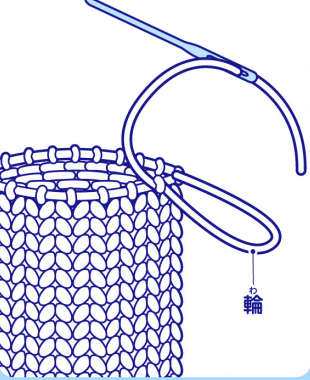
しぼらない場合



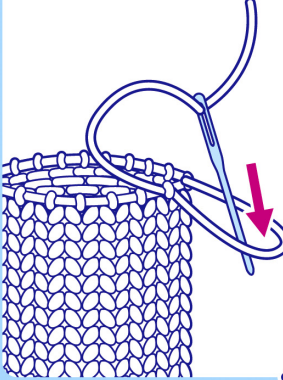
① 最後の編み目1目だけに、もう一度とじ針を通します。



② とじ針をひっぱってから、輪をつくります。



③ つくった輪にとじ針を通します。

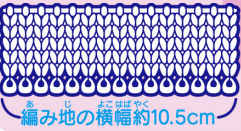


作りたいたマスコットにあわせてえらびます。

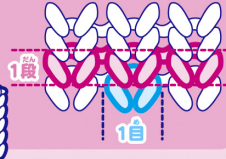
基本の編みかた-平編み

平編みのしおり (1段 15目)

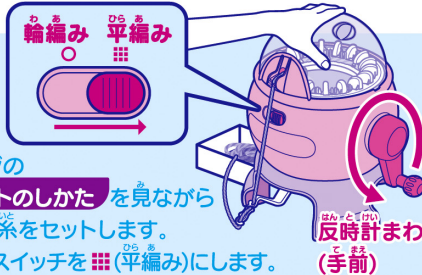
図のような形を編みます。



段数・目の数えかた



1段で15目編めます。



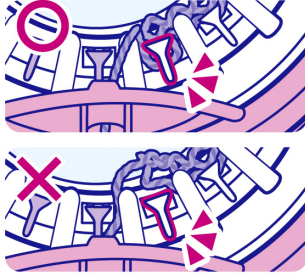
フタをおさえながら、反時計まわりにハンドルをまわして編みます。まわすときは一定のスピードでまわしてください。(1秒間にハンドルを2回まわすくらい)



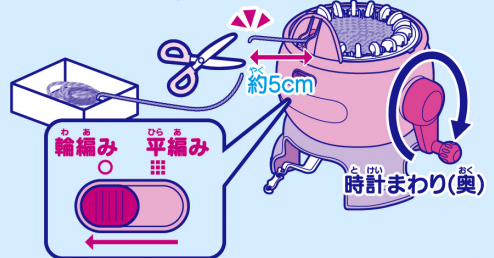
3ページの毛糸セットのしかたを見ながら本体に毛糸をセットします。きりかえスイッチを (平編み) にします。

2 ハンドルが止まる位置まできたら今度はハンドルを時計まわりにまわします。止まったらまた反時計まわりにまわします。この手順を交互にくりかえします。

平編みは、回転の向きが変わるとき、一番端の目がひっかからず落ちてしまうことがあります。一番端の目を編むときは、きちんと毛糸がひっかかっているか確認しながら編んでください。



3 目標の段数(スタート針が1周すると1段)まで編みあがったら、毛糸を約5cmのあたりで切り、糸口からはずします。きりかえスイッチを輪編みにあわせて、ハンドルを時計まわりにまわして編んだものを取りはずします。(4ページの6からの手順と同じ方法ではずしてね。)



ハンドルが止まるまでは反対方向にハンドルをまわさないでね。

【平編みを編むときのポイント】平編みで編む場合、編地の両端の編み目(端目)がはずれる場合があります。その際は下記の事に注意して編んでください。

回転スピードをチェック

●速すぎず、ゆっくりすぎずに1秒間に2回くらいのスピードでまわしてください。

両端の編み目をチェック

●端の編み目が落ちやすいときは透明ドームを外して、両端の編み目が編まれているか確認して、編み進めてください。

編み目のゆるみをチェック

●編んでいる途中で編めた部分(編み地)を軽く下にひっぱり、編み目をととのえてください。
●編み目が浮かないように、編み針の根元に戻るように編み地をひっぱります。
●特に平編みの場合は、端目を編む2、3目の手前で軽く編み地をひっぱりつつから端目を編み、反対側の端目も編む前の2、3目手前で、もう一度ひっぱりつつ編み進めると端目がはずれづらくなります。

平編みのしまつ

輪編み(ページ4・5)と同じように、編んだものを本体からはずした後、編み終わりの残り糸を、手でゆっくりひっぱり、1段(15目)ほどいておきます。

伏せ止め(編み終わりのしまつ)

カギ針を使ってすべての目を伏せて止めます。

1 カギ針を2目一緒に通します。(2回目目は1目)

2 毛糸に1回ひっかけて2目一緒に引きぬきます。

編み終わりの毛糸を強く引きすぎると、編み目がほどけてしまうので気をつけてね!



3 次は1目だけ通し、2のように引きぬきます。

4 次からは3を、編み地の端目までくりかえします。



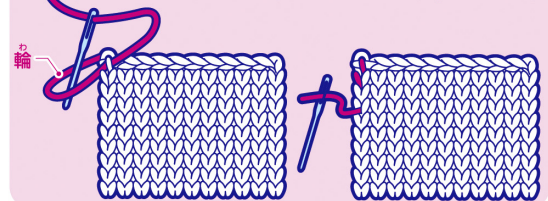
5 端目まで終わったら、図のように輪の中を通して、余った部分とはじ針で編み地に編みこみ切ります。



編みはじめのしまつ

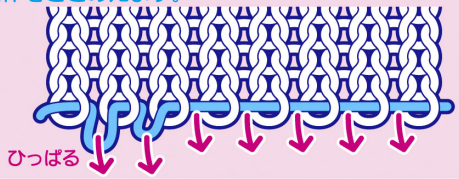
1 図のように毛糸の輪をつくり、とじ針を通して結びます。しぼらないように注意しましょう。

2 毛糸が残ったら、編み地の中へ少しぬいこみ、残った毛糸は切りましょう。



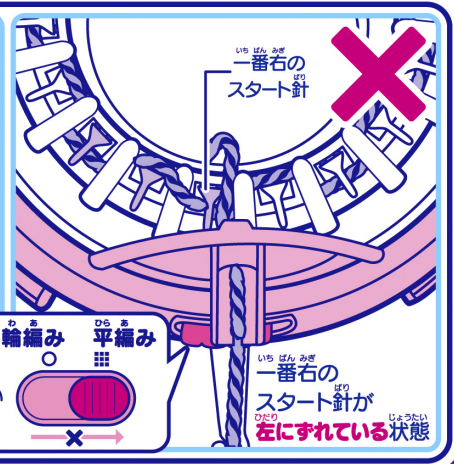
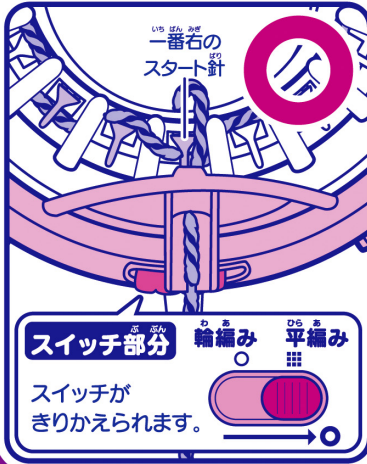
編みはじめの糸がたるんだらととのえてね。

図のように1目ずつ、たるんだ毛糸を少しずつひっぱり全体をととのえます。



平編みスイッチのきりかえについて

本体に毛糸をセットして平編みするとき、必ず1番右のスタート針が手前であることを確認してから、きりかえスイッチを平編みにしてください。一番右のスタート針が手前ないと、きりかえスイッチを平編みにきりかえできなったり、ハンドルがロックされて動かないことがあります。



いちごとひよこのストラップのつくりかた むすかしさ ☆☆☆☆☆

用意するもの

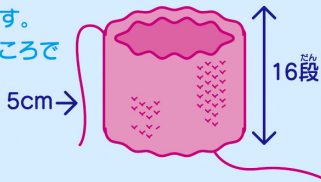
- いちご ●毛糸(ピンク) ●フェルト(オレンジ、茶色) ●とじ針 ●わた
ひよこ ●毛糸(黄色) ●フェルト(オレンジ、茶色) ●とじ針 ●わた

セット内容以外に必要なもの

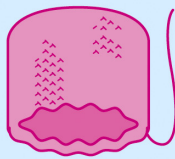
- はさみ ●手芸用ボンド

① 丸い形をつくります。

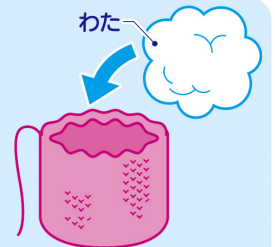
① 輪編みで16段編みます。糸口から約5cmのところまで毛糸を切り、本体からはずします。



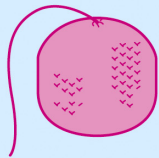
② 5ページの輪編みの編み終わり・編みはじめのしまつを見ながら編み終わりを1段18目ほどき、口をしぼる場合の方法でしまつします。残り糸は切りましょう。



③ 口のあいている編みはじめを上にもくけます。編みはじめの毛糸を少しひっぱりしぼり、袋状にしてから綿を詰めます。

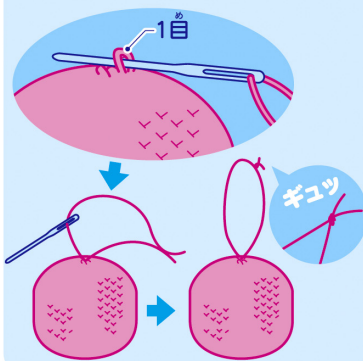


④ 詰め終わったら編みはじめの毛糸をさらにひっぱり5ページの口をしぼる場合の方法でしまつします。



② ストラップ部分を通します。

新しい毛糸(約30cm)を用意し、それととじ針に通します。しぼり口部分の1目をすくって図のように結びます。



③ フェルトを切って貼りつけます。

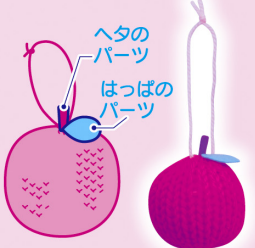
付属のフェルトを12ページにあるテンプレートを使って切り、手芸用ボンドで貼りつけます。



応用編

りんごのストラップ

ちがう形のフェルトを貼ると、りんごになるよ!



フェルトの型紙は12ページにあるよ!





用意するもの

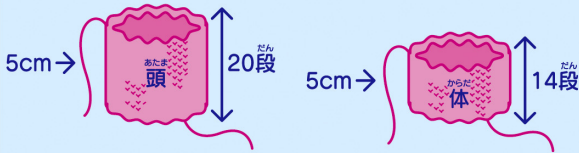
- 毛糸(黄色)
- とじ針
- フェルト(オレンジ、茶色)
- わた

セット内容以外に必要なもの

- はさみ 
- 手芸用ボンド 

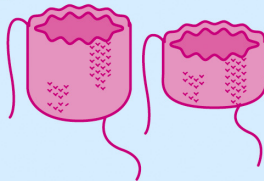
① 頭と体をつくります。

- ① 輪編みで頭20段、体14段を編んだ後、糸口から約5cmのところで毛糸を切り、本体からはずします。

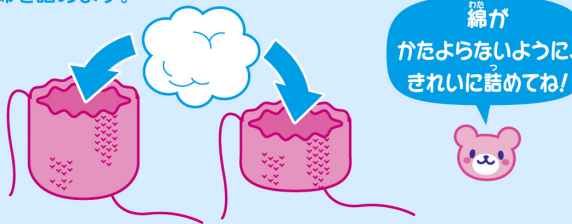


② 5ページの

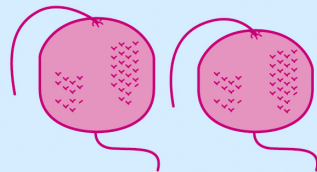
輪編みの編み終わり・編みはじめのしまつを見ながら、編み終わりを1段18目ほどき、口をしぼる場合の方法でしまつします。残り糸は切りません。



- ③ 編みはじめの毛糸を少しひっぱり、袋状にしてから綿を詰めます。

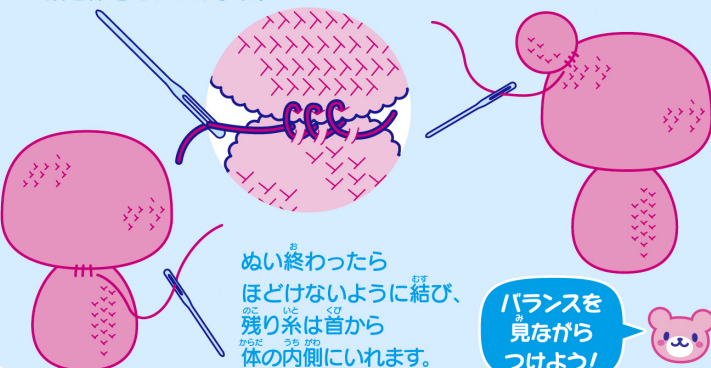


- ④ 詰め終わったら編みはじめの毛糸をさらにひっぱり、5ページの方法で口をしぼる場合の方法でしまつします。



⑤ 組み立てます。

- ① 切らずに残しておいた編み終わりの毛糸で頭と体をぬいつけます。



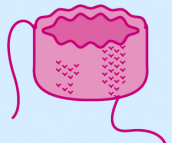
② 耳をつくります。

- ① 輪編みで8段を2個編んだ後、糸口から約5cmのところで毛糸を切り、本体からはずします。

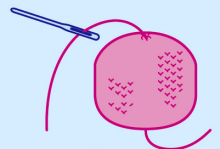


② 5ページの

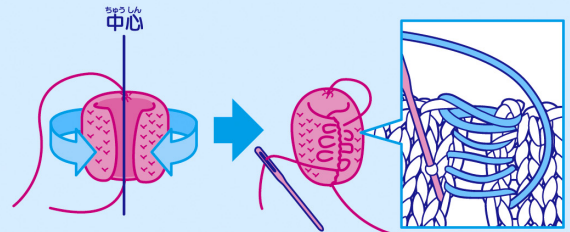
輪編みの編み終わり・編みはじめのしまつを見ながら、編み終わりを1段18目ほどき、口をしぼる場合の方法でしまつします。残り糸は切りません。



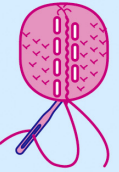
- ③ 編みはじめの毛糸は体につけるときの使用で、しまつせずに残しておきます。



- ④ 編み地は下の図のように両向きを中心につきあわせて、編み終わりの毛糸で上からぬいあわせませす。



- ⑤ ぬい終わったら、ほどけないように結び、残り糸は内側にいれます。



④ フェルトを切って貼りつけます。

付属のフェルトを5ページにあるテンプレートを使って切り、手芸用ボンドで貼りつけます。

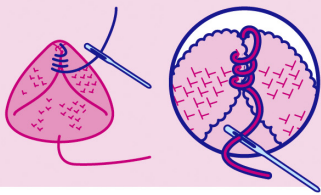


ネコちゃんの耳のつくりかた

- ① 輪編みで8段を2個編み、くまちゃんのつくりかた
 ② 耳をつくります。①～③まで進めます。



- ② 編みはじめの毛糸で、編み地の上の部分をぬい止めます。



- ③ 耳が三角になるように、新しい毛糸で両端の編み地を図のようにぬい止めます。



- ④ 切らずに残しておいた編み終わりの毛糸で耳を頭にぬいつけて、⑤ページにあるくまちゃんのテンプレートをを使ってフェルトを貼りつけます。

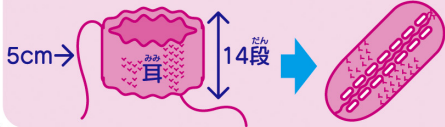


ネコちゃんの鼻はテンプレートの-----の線にそって切つてね!

できあがり!!

ワンちゃんの耳のつくりかた

- ① 輪編みで14段を2個編み、くまちゃんのつくりかた
 ② 耳をつくります。①～⑤まで進めます。



- ② 耳を頭にぬいつけて、くまちゃんのテンプレートをを使ってフェルトを貼りつけます。



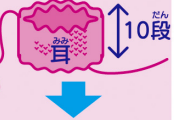
できあがり!!

耳の形を変えると、ネコちゃん、ワンちゃん、うさちゃんにもなるよ!

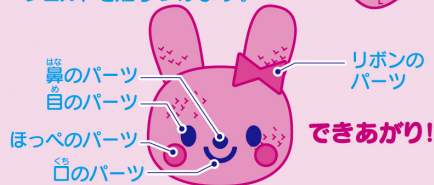


うさちゃんの耳のつくりかた

- ① 輪編みで10段を2個編み、くまちゃんのつくりかた
 ② 耳をつくります。①～⑤まで進めます。



- ② 耳を頭にぬいつけて、うさちゃんのテンプレートをを使ってフェルトを貼りつけます。



できあがり!!

上のつくりかたは、中細の毛糸でつくる場合です。写真のような、ふわもこ毛糸でつくる場合は頭(17段)、体(12段)、耳(8段)で編んでね!

ハートのチャームのつくりかた

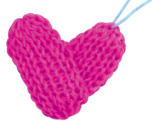
むすかしさ ☆☆☆☆☆

用意するもの

- 毛糸(ピンク)
- とじ針

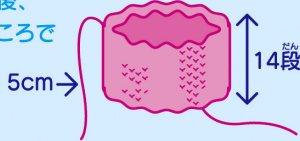
セット内容以外に必要なもの

- はさみ

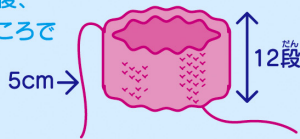


① ハートをつくります。

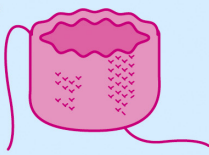
- ① 輪編みで14段編んだ後、糸口から約5cmのところまで毛糸を切り、本体からはずします。



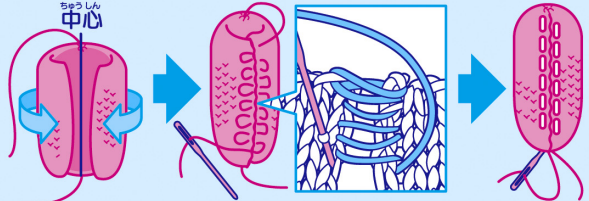
- ② 輪編みで12段編んだ後、糸口から約5cmのところまで毛糸を切り、本体からはずします。



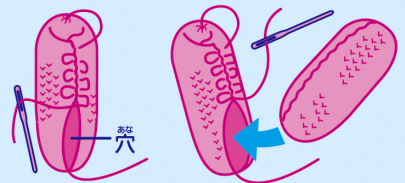
- ③ ⑤ページの輪編みの編み終わり・編みはじめのしまつを見ながら①と②それぞれの編み終わりを1段18目ほどき、口をしぼる場合の方法でしまつします。残り糸は切りません。



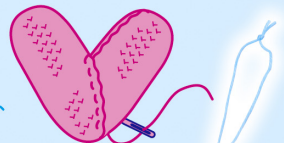
- ④ 12段の編み地は、下の図のように両向きを中心につきあわせて、編み終わりの毛糸で上からぬいあわせませす。ぬい終わったらほどけないように結び、残り糸は内側にいれます。



- ⑤ 14段の編み地は、④のやり方で上から半分だけぬいあわせ、穴に④でできたパーツを差し込みます。



- ⑥ ハートになるように形をととのえて2つのパーツをぬいあわせませす。ぬい終わったらほどけないように結び、残り糸は内側にいれます。



- ⑦ ⑦ページのいちごどひよこのストラップのつくりかたと同じように、新しい毛糸(約30cm)を用意しすきな位置に通して結べばできあがり!



用意するもの

- 毛糸(水色、ピンク)
- かぎ針
- とじ針

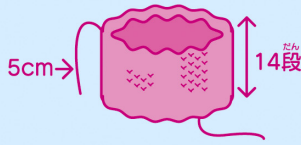
セット内容以外に必要なもの

- はさみ
- 手芸用ボンド

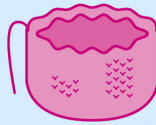


1 リボンをつくります。ピンクの毛糸を使います。

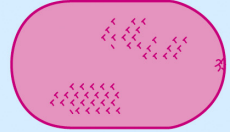
1 輪編みで14段編んだ後、糸口から約5cmのところまで毛糸を切り、本体からはずします。



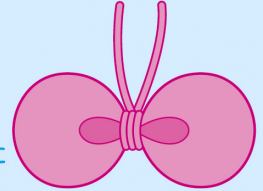
2 5ページの輪編みの編み終わり・編みはじめのしまつを見ながら、編み終わりを1段18目ほどき、口をしぼる場合の方法でしまつします。残り糸は内側にいれます。



3 編みはじめの毛糸をひっぱり、5ページの口をしぼる場合の方法でしまつします。残り糸は内側にいれます。

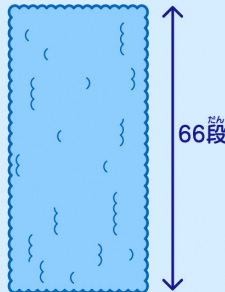


4 約20cmに切った毛糸を3で作った編み地の真ん中にぐるぐるきつく巻きつけて結びます。残り糸はポーチにつけるときに使うので、残しておきます。

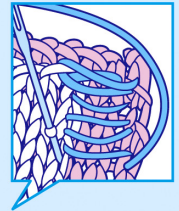
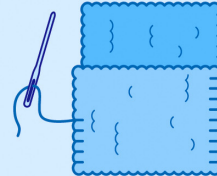
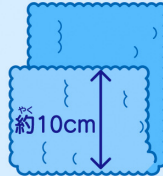


2 ポーチをつくります。水色の毛糸を使います。

1 6ページを参考に水色の毛糸で66段(約30cm)の平編みし、伏せ止めでしまつします。



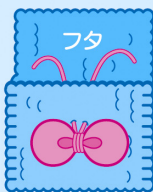
2 1で作った編み地を下から約10cmの位置で折り、好きな色の新しい毛糸(約50cm)を使って図のように両端をぬいあわせます。



3 リボンをつけます。

1 2ポーチをつくります。で作ったフタのすぐ下、図の位置にリボンの残り糸をポーチの目に通し、固結びでとめます。

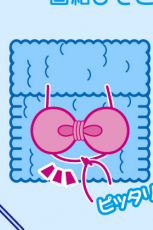
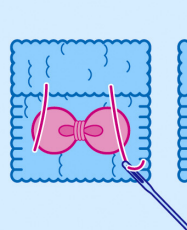
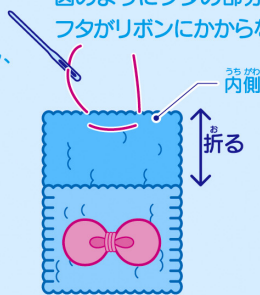
※上側だけにリボンをつけてね!



2 1でつけたリボンにかける、ひもをとりつけます。

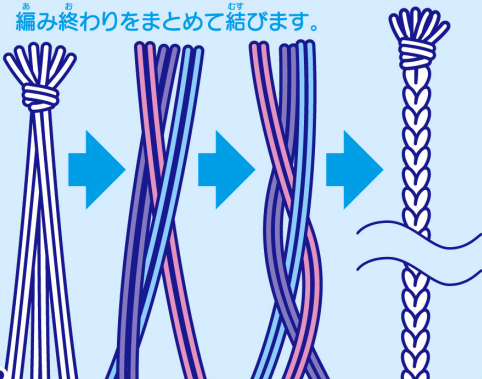
図のようにフタの部分に毛糸を通し、フタがリボンにかからないように折ります。

毛糸をリボンの下にひっかけて、ゆるくない位置で毛糸を調整して固結びでとめます。



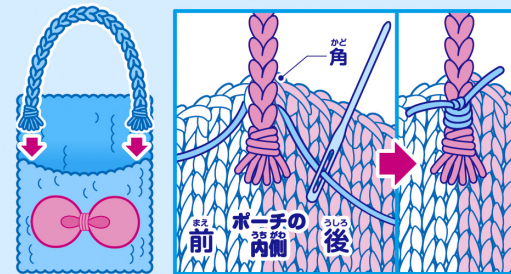
4 持ち手をつくります。

約40cmに切った水色の毛糸を6本用意し、端をまとめて結び2本ずつつけて三つ編みします。編み終わりをまとめて結びます。

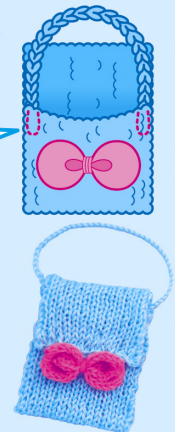


5 持ち手をぬいつけます。

新しい毛糸(約30cm)を使って3持ち手をつくります。で作った三つ編みをポーチ本体の内側にぬいつけます。



ポーチの角部分の編み地と、三つ編みのひもをしっかりとぬいつけて、ほどけないように結んでね!



できあがり!!

リボンストラップのつくりかた

むずかしさ ★☆☆☆☆

用意するもの

- 毛糸(おうちにある毛糸2色)
- とし針

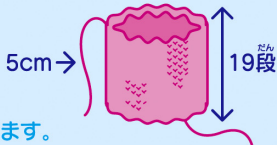
セット内容以外に必要なもの

- はさみ



① リボンをつくります。

① 輪編みで19段編んだ後、糸口から約5cmのところで毛糸を切り、本体からはずします。



② 編み終わりを1段18目ほどき、

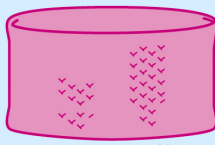
★ ページの

輪編みの編み終わり・編みはじめのしまつ

のしほらない場合を見ながら

しまつします。

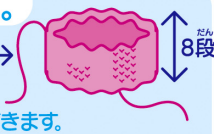
残り糸は切りましょう。



しまつした後

② リボンの中心パーツをつくります。

① 輪編みで8段編んだ後、糸口から約5cmのところで毛糸を切り、本体からはずして、編み終わりを1段18目ほどきます。



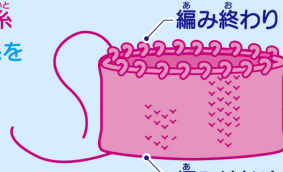
★ ページの 輪編みの編み終わり・編みはじめのしまつ

のように編み終わりに一周毛糸を通して。編みはじめは毛糸を

通しません。編みはじめと編み終わりの毛糸はリボン

をとめるときに使うので、

しまつせずに残しておきます。

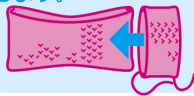


編み終わり

編みはじめ

③ リボンを組み立てます。

① 図のようにリボンにリボンの中心パーツを通し、位置を調整します。



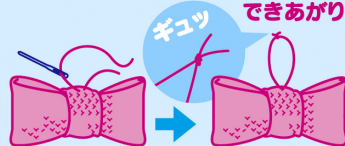
② 中心パーツの編みはじめと編み終わりの糸を編み終わりの糸のようにひっぱりしぼります。



③ 編みはじめの毛糸と編み終わりの毛糸をそれぞれぬいつけ、ほどこないように結びます。結んだ後の残り糸は内側にいれます。



④ ストラップ部分を通します。



ギョツ できあがり!

毛糸を動かし、結び目をマスコットの真中に隠してね!

★ ページの いちことひよこのストラップのつくりかたと同じように、新しい毛糸(約30cm)を用意し、すきな位置に通して結べばできあがり!



うさちゃんきんちゃくのつくりかた

むずかしさ ★★★★★

用意するもの

- 毛糸(ピンク、白)
- かぎ針
- フェルト(茶色、白)
- とし針

セット内容以外に必要なもの

- はさみ



① うさちゃんをつくります。

くまちゃんの耳(★ ページ)とおなじように輪編みで9段編み、毛糸のしまつをしてください。



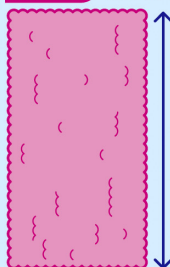
② フェルトを切って貼りつけます。

市販のフェルトを★ ページにあるテンプレートをを使って切り、手芸用ボンドで貼りつけます。



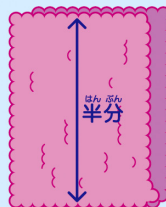
③ きんちゃくをつくります。

① ★ ページを参考に好きな毛糸で66段(約30cm)平編みし、伏せ止め

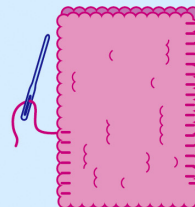


66段

② ① で作った編み地を半分の位置で折り、新しい毛糸(約100cm)を使って図のように両端をぬいあわせます。

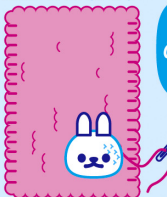


半分



④ うさちゃんをぬいつけます。

うさちゃんを好きな位置にぬいつけます。

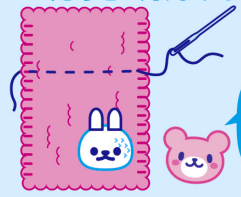


2枚重ねてぬわないように気をつけてね!



⑤ ヒモをつけます。

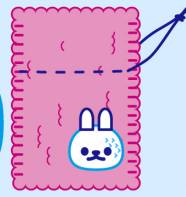
① しほる位置を決めて新しい毛糸(約40cm)でぐるりと一周、なみぬいをします。



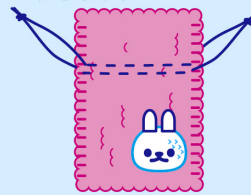
2枚重ねてぬわないように気をつけてね!



② ぬい終わったら、端で毛糸を結びます。



③ ① ② と反対の向きに同じように毛糸を通して結びます。



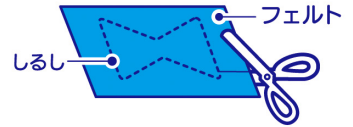
できあがり!!

フェルトプレート

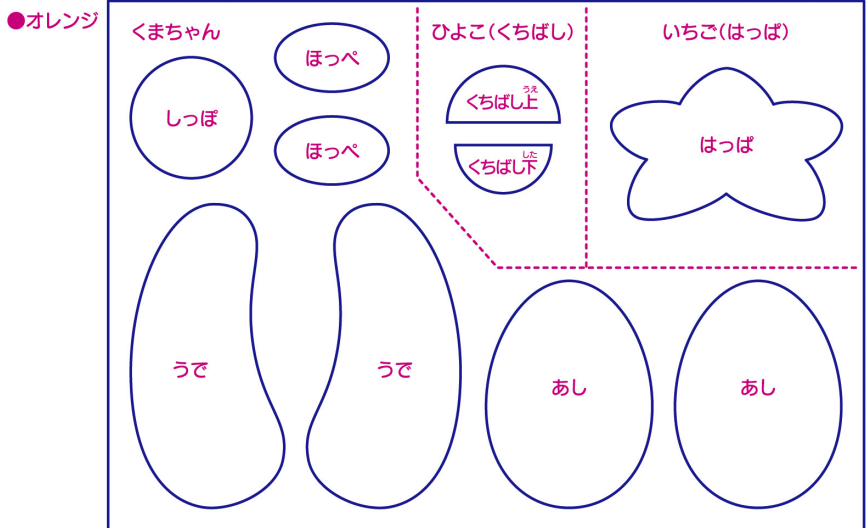
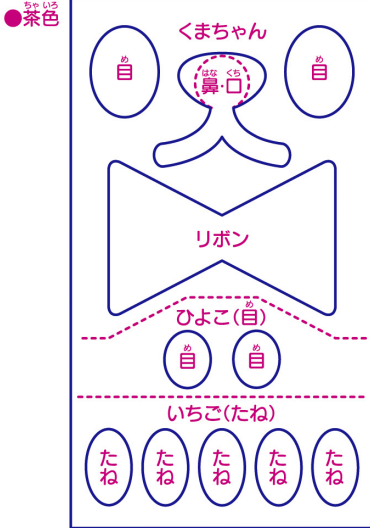
このページをコピーして、テンプレートを使ってフェルトを切りぬいてね。

つかいかた

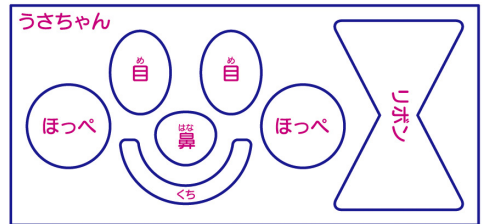
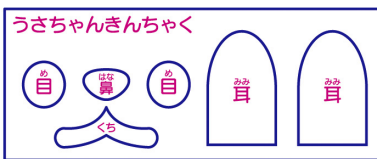
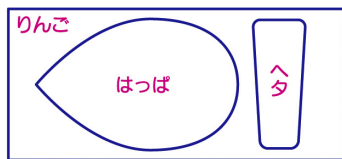
コピーしたテンプレートシートをおうちの大人に切りぬいてもらってね。フェルトの上に重ねて、えんぴつなどでしるしをつけます。



テンプレート (セット内容のフェルトでつくれるサイズになっています)



その他のテンプレート (市販のフェルトをご使用ください)



警告(けいこく)

保護者の方へ 必ずお読みください。

- 小部品があります。誤飲・窒息の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 生後18ヶ月未満のお子様には絶対に与えないでください。毛糸などで首を締める危険があります。
- 本体内部、カギ針、とじ針は機能上、尖っていますので危険です。

注意(ちゅうい)

- 必ず保護者のもとで遊ばせてください。
- 毛糸を首にかけてぶざげたり、乱暴に遊ばないでください。窒息などの危険があります。
- 毛糸は、指などに巻きつけたりしないでください。血がかよわなくなり危険です。
- 編むときは必ずフタをかぶせて毛糸以外のものを本体内部の回転部分に入れないでください。編み針などが折れて、飛ぶ場合があります。
- ハンドルや本体内部の回転部分に指や髪の毛や衣服などをはさまれないよう注意してください。
- 可動部のスキマには指などを入れないでください。はさまれてケガをする恐れがあります。
- 思わぬ事故の危険がありますので、編むときは絶対にフタを開けて中に指を入れないでください。
- テンションは無理に折り曲げたり、顔を近づけないでください。ケガをする恐れがあります。
- 毛糸・わた・フェルトを火の近くや高温・多湿の場所、直射日光の当たる場所での使用や保管を行わないでください。
- 投げたり、ぶつかけたり、振り回すなど乱暴な遊びをしないでください。部品がはずれたり、思わぬ事故の危険があります。
- ハサミを使用する部分がありますので、お取扱いは注意してください。
- 袋を頭からかぶったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 作ったあみぐるみ、小物は火気や暖房器具には近づけないでください。

使用上の注意

- この商品は、はさみや手芸用ボンドを使います。別にご用意ください。
- 可動部分・取り付け部分を無理な方向に引っ張ったり、曲げたりしないでください。
- とじ針やカギ針、ハサミを使用するときは十分注意してください。
- 袋は梱包材ですので開封後はすぐに捨ててください。

作り方が動画で見られるよ!

2次元コードか下記URLよりアクセスしてください。



<http://www.megahouse.co.jp/megatoy/products/item/2018/>

※携帯電話やパソコンによる通信料金、接続料、パケット通信料などは、お客様のご負担となります。ご了承ください。

〈お買い上げのお客様へ〉

商品についてお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでお問い合わせください。

メガハウスお客様相談センター

〒277-0863 千葉県柏市豊四季241-22

TEL 04-7146-0651

●電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く)10時～17時 ●電話番号をよく確かめてお間違いないようご注意ください。

株式会社 メガハウス

〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-4
<http://www.megahouse.co.jp/>

対象年齢
5才以上
6才以上